学校番号	3033

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	（学）地学演習Ｌ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 地学基礎（啓林館）						
副教材等	二訂版 ニューステージ 地学図表（浜島書店） センサー 地学基礎 3rd Edition（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

星はどうして輝き続けるのか。宇宙に果てはあるのか。絶景はどのようにして生まれたのか。発生を止めることができない自然災害に対してどのように向き合うか。地球を彩る四季の変化やさまざまな気象現象はどのようにして起こるのか。私たちはどのような進化の変遷ののち今の姿になったのか……地学は，そういった身近な自然科学の疑問について考える，「地球を学ぶ」学問だということは，２年生のときに実感できたかと思います。日常で出合う些細な変化から劇的な変化までもれなく興味を持ち，もっと知りたいと思う気持ちを大切に育てましょう。これまでの地球の歴史を振り返るとともに，これからの私たちはどう在るべきか，どう備えるべきかを考え続けましょう。

呪文のように「暗記」する学習ではなく、「好奇心」から得られる新たな発見が、あなたの思考や理解の糧となりますように。

2　学習の到達目標

地球とそれを取り巻く環境への関心を高め，日常生活や社会との関連を図りながら基本的概念や原理・法則などの知識を吸収する。目的意識をもって観察・実験などを行い，地学的に探究する能力と態度を養う。

- 【a:知識及び技能】固体地球の活動とその移り変わり、大気と海洋の運動の様子等を学ぶ中で、その法則性に気づき、観察・実験を通して体系的な知識・技能としてまとめ、理解を深める。
- 【b:思考力、判断力、表現力等】人間生活との関わりから、地球の環境や気象現象、地震や火山災害について理解し，観察・実験・グループワークなどによる探究を通して考え、科学的に判断する姿勢を培う。更に、観察や実験を通して自分の意見をまとめる力とともに、未来の地球のありかた等について自分の意見を表現できる力を身に付ける。
- 【c:学びに向かう力、人間性等】既習事項や教科を超えた学習内容をもとに、プレートテクトニクスや宇宙の始まりから地球の歴史、環境変化について興味関心の領域を広げ、主体的に疑問や課題を見つけ、その解決に向けて取り組む姿勢を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	観察・実験などの技術を修得して，地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。また，それらを科学的に探究する方法を模索し,自らの考えを的確に表現する技能を身に付けている。	地学的な事物･現象の中に課題を見出し，適切な観察・実験等を行うとともに,それらについて論理的・科学的に探究・考察し,導き出した考えを適切に表現している。	日常生活における地学的な事物･現象に関心をもって触れ合い,意欲的にそれらの原理や影響について探究するとともに,それらと社会との関連を意識しながら科学的見解を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	移り変わる地球（つづき）	地球の誕生 ・太陽系の誕生 ・宇宙の誕生	a：①ＨＲ図を利用し、恒星の明るさとスペクトル型の関係から、恒星の大きさや寿命について説明することができる。 ②宇宙の誕生から現在までの歩みについて理解する。 b：①惑星どうしの特徴を比較し、太陽からの距離との関連性について考え、話し合うことができる。 ②恒星の明るさと、色や温度との関係について考察し、その規則性から恒星の進化について考えることができる。 c：①太陽系の天体（太陽・惑星・小天体など）に興味を持ち、それらの特徴や運動の規則性・共通性について調べようとする。 ②銀河や宇宙について興味を持ち、それらの構造や分布のしかた・宇宙の歴史について調べようとする。	・定期考査 ・実習課題	・定期考査 ・実習課題	・ペア・グループ・個人探究活動 ・振り返りシート
後期	固体地球とその変動	復習1 ・地球の概観 ・地球の内部構造 ・プレートと地球の活動 ・地震 ・火山活動と火成岩の形成	a：地震・火山噴火や大地形の形成に関する知識が定着しており、演習問題を解くことができる。 b：プレートテクトニクスや地球の概観・内部構造に関するグラフや表、図などを読み取り、それらが示す内容について自分の言葉で表現することができる。 c：これまでに得た経験や知識を用いて、作問したり、新たな問いに挑もうとしたりする。	・定期考査 ・実習課題	・定期考査 ・実習課題	・ペア・グループ・個人探究活動 ・振り返りシート
	移り変わる地球①	復習２ ・堆積岩とその形成 ・地層と地質構造 ・地球の歴史の組み立て ・先カンブリア時代 ・顕生代	a:火成岩・堆積岩・変成岩や古生物を分類するための知識が定着しており、演習問題を解くことができる。 b:グラフや表、図などを読み取り、地球史のストーリーについて自分の言葉で表現することができる。 c：これまでに得た経験や知識を用いて、作問したり、新たな問いに挑もうとしたりする。	・定期考査 ・実習課題	・定期考査 ・実習課題	・ペア・グループ・個人探究活動 ・振り返りシート

	大気と海洋	復習 3 ・大気圏 ・水と気象 ・地球のエネルギー収支 ・大気の大循環 ・海水の循環 ・日本の天気	a:大気圏・水圏に関する知識が定着しており、演習問題を解くことができる。 b:大気・海洋に関するグラフや表、天気図などを読み取り、それらが示す内容について自分の言葉で表現することができる。 c: これまでに得た経験や知識を用いて、作問したり、新たな問いに挑もうとしたりする。	・定期考査 ・実習課題	・定期考査 ・実習課題	・ペア・グループ・個人探究活動 ・振り返りシート
	移り変わる地球②	復習 4 ・太陽系と太陽 ・恒星としての太陽の進化 ・銀河系と宇宙	a:宇宙や太陽、太陽系に関する知識が定着しており、演習問題を解くことができる。 b:太陽の進化や太陽系の惑星に関するグラフや表、図などを読み取り、それらが示す内容について自分の言葉で表現することができる。 c: これまでに得た経験や知識を用いて、作問したり、新たな問いに挑もうとしたりする。	・定期考査 ・実習課題	・定期考査 ・実習課題	・ペア・グループ・個人探究活動 ・振り返りシート
	自然との共生	復習 5 ・地球環境と人類 ・日本の自然災害と防災 ・人間生活と地球環境の変化 ・地学的な考え方と21世紀の私たち	a: 自然災害や環境問題に関する知識が定着しており、演習問題を解くことができる。 b:地球環境に関するグラフや表、図などを読み取り、それらが示す内容について自分の言葉で表現することができる。 c: これまでに学んできた知識を活かし、これからも地球で生きていくために人類がすべきことについて意識する。	・定期考査 ・実習課題	・定期考査 ・実習課題	・ペア・グループ・個人探究活動 ・振り返りシート
	総合演習	センター試験・共通テスト過去問	a:これまでの知識が定着しており、演習問題を解くことができる。 b:初めて見るグラフや表、図などを読み取り、それらが示す内容について自分の言葉で表現することができる。 c: これまでに学んできた知識を活かし、これからも地球で生きていくために人類がすべきことについて意識する。	・定期考査 ・実習課題	・定期考査 ・実習課題	・ペア・グループ・個人探究活動 ・振り返りシート

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度